



U.S. Small Business
Administration

地域ナビゲーター案内プログラム よくある質問 | 2021年10月28日

バイデン・ハリス（Biden-Harris）政権では、新型コロナウイルス（COVID-19）のパンデミックにより生じた景気低迷からの救済を目的とした、連邦救済プログラムの利用に必要な支援を、国家の中小企業が受ける取り組みを行っています。昨年間に打撃を受けた中小企業は少なくとも40万に上ることから、この技術支援はとりわけ重要です。先に実施された昨年度の経済的支援策では、何百万の中小企業を破産から守り雇用者への給与を維持するのに役立ちましたが、それでも有力者につながるのある大企業が直ちにプログラムの利用ができた一方、あまりにも多くの少数派民族の所有事業や家族経営の事業がぎりぎりの対応を迫られました。これらの中小企業がより容易く利用できるよう、SBAでは、地域ナビゲーター案内プログラムを推進し、地域社会に深く関わりのある組織とパートナーシップを組むことで、十分なサービスを受けていない事業に対する社会的支援の強化を行いました。

1. SBAの地域ナビゲーター案内プログラムについて教えてください。

2021年度のアメリカ救済計画法により制定された当プログラムは、地方と都市の両方の地域で、退役軍人や女性、社会的経済的に不利な立場にある個人を中心とした中小企業を救済することを目的に、地域ナビゲーターによる案内を行います。プログラムは、経済復興を通じて中小企業と関わる地域の支持者を配置する「スポーク」組織のネットワークの中心にあり先導役を果たす「ハブ」により構成されています。復興サービスには、事業の安定と拡大を目的とした金融支援、資本支援の利用、請負や調達支援、マーケティング、運営や事業開発、輸出と輸入、その他の分野の技術支援に関する業界特化トレーニングが含まれます。

2. ハブ&スポークモデルの立ち上げのきっかけについて教えてください。

ハブ&スポークモデルは、中小企業法条項 7(a)(36) (A)（合衆国法典第 15 編第 636(a)(36)(A)項）で定義される地域団体、地域の金融機関、または地域ナビゲーターサービスに従事するその他の民間非営利団体にあたる地域ナビゲーターモデルの一部に該当します。このモデルは、地域ナビゲーターにより提供される社会的支援、事業教育や技術支援により、対象の資格を有する事業がSBAのプログラムへの意識を高め、事業のプログラム参加を促すことを目的に立ち上げられました。

- ハブ&スポークモデルは、信頼のおける地域団体にネットワークを発展させることで、中小企業と直接連絡を取り合って事業発展のあらゆる段階で資料の利用を案内することを目的としています。
- ハブ – 指導的な立場の組織で、助成金の管理およびスポーク・ネットワークの主導を担います。
- スポーク – 中小企業とつながりを持つ現場の組織で地域に根ざした関わりを担います。

3. ナビゲーターの案内は誰を対象に行うのですか？

中小企業であれば全企業が該当しますが、CNPPの資金調達に関する通知（Notice of Funding Opportunity）により、以下に該当する、サービスを受けられないおよび/または少数派の該当者区分に特化した案内を行っています。

- 社会的経済的に不利な立場にある中小企業
- アラスカ先住民および先住民族
- アジア系アメリカ人
- 黒人およびアフリカ系アメリカ人
- ヒスパニック系およびラテン系
- 中東
- 先住アメリカ人
- ハワイ先住民および太平洋諸島の住民
- 北アフリカ系
- 民族系コミュニティ
- 地方の起業家
- 障害を伴う企業家
- LGBTQの起業家
- 退役軍人および軍事起業家（その配偶者を含む）
- 女性の起業家
- 革新的スタートアップ
- 零細企業
- 社会的経済的に不利な立場にある中小企業

4. 地域ナビゲーターの選抜方法について教えてください。

助成金受領者は厳しい承認プロセスを経て選抜されます。初段階の有資格審査を経て、申請書は20段階の技術評価パネルにより得点化されます。各評価パネルは、現地業務運営課の担当者が、地理およびサービス区分に基づいて評価します。

審査過程が終了すると、SBAの上級管理者による第2段階の審査が実施され、さらに詳しい評価を行います。この選抜基準には、技術評価パネルの得点だけでなく、地理的多様性やサービス区分の多様性も加味されます。

5. SBAがどのように助成金受領者を偏りなく選抜するのか教えてください。

SBA では、偏りのない選抜過程を確実に実行するいくつかの対策を行いました。SBA 担当官チーム（「授与陪審団：Awards Panel」）が各審査過程を詳細を確認し規範に則り吟味しました。地域ナビゲーター案内プログラム執行チームは、詳細な方法論と審査過程を展開し、SBA 顧問室（Office of General Counsel）により総括を受けた上で、公平・公正を確実に実行しました。授与陪審団はまた、評価・選抜過程に入る前段階で、無意識バイアスに対処するトレーニングを受けました。技術評価パネルに際し、各パネルの現場事務所の担当者が自身の地域内からの申請書を審査しないよう対応を行いました。

6. 有資格基準について教えてください。

地域ナビゲータープログラムの助成金へ申請資格を有する該当者は、民間非営利団体、資源パートナー、州、民族系、地方自治体でした。申請資格や申請方法についてのより詳細については、[こちら](#)を確認してください。

7. 助成金の申請を行った団体の数を教えてください。

656 団体から 745 通の申請書を受領しました。重複した申請書と資格のない事業を除外した結果、502 通の申請書が審査され得点化されました。502 通の申請書のうち、51 の申請に対し助成金が付与されました。

8. 助成金受領者の人数と所在地を教えてください。

51 名の受領者は次のように分類されました。

- 分類 1：受領者 8 名（各助成金につき最大 500 万ドル）
- 分類 2：受領者 11 名（各助成金につき最大 250 万ドル）
- 分類 3：受領者 32 名（各助成金につき最大 100 万ドル）

www.sba.gov/navigators を閲覧して地域ナビゲーター案内プログラム一覧を確認してください。

9. 選抜から漏れた申請者は申し立てを請求することができますか？

いいえ。案内プログラムでは申し立て処理は受付けていません。

10. 将来的に別の助成金付与は行われる予定ですか？

地域ナビゲーター案内プログラムは議会とアメリカ救済計画法により承認を受けています。追加の助成金付与の予定は現在のところありません。

11. 地域ナビゲーターはいつまでサービス提供を行う予定ですか？

サービス提供は 2021 年 12 月 1 日から 2023 年 11 月 30 日まで行われます。

12. 地域ナビゲーターは既存の SBA 支援と重複していますか？

重複はしていません。地域ナビゲーター案内プログラムにより、SBA のすべての資源提供の可能性をさらに膨らませ、また支援を推進することができるようになり、さらに米国の中小企業との関わりが非常に容易くなりました。790 万ある小規模事業（従業員が

500名未満)のうち、20.7%がSBAのサービス施設のない郡に所在しています。地域ナビゲーター案内プログラムでは、この地域格差を埋める手助けを行う予定です。

SBDC、SCORE、WBC および/または VBOC のような SBA の資源パートナーは有資格企業であり、CNPP 助成金への申請は可能ですが、CNPP 奨励金の受領についてはその他の奨励金との合同受領は認められていません。

13. 助成金の適切な使用における説明責任および監視措置について教えてください。

現地業務運営課では、担当者が地域ナビゲーターとパートナーシップを組む地域感化連絡係をそれぞれ振り分け、監視を行い順守の確認を行います。助成金受領者は、四半期ごとに業績報告および償還に関連した請求資料を提出します。

14. なぜ、すべての州にハブが設置されていないのですか？

申請者は、地域ナビゲーションハブとしてサービス提供を行うに適しているかの判断について厳しい承認プロセスを経て選抜を受けます。ハブとして認定を受け技術評価パネルにより得点化を受けた 502 名の申請者に対し、機関はパネルの評価を行い地理的条件やサービス部門を加味した上で、最も優れた申請者を決定しました。

15. スポークの所在地と連絡方法について教えてください。

分類 2 および 3 の企画について、スポークは、境界に近い場合に近隣の州に所在する例はありますが、基本的に同じ州内あるいは群内にハブとして所在します。分類 1 の企画については、所在範囲は全国に及び、スポークはいくつかの州全体に分配されています。ハブは新規の企画ウェブサイトを作成し、各企画に対する地理的範囲の詳細を記載する予定です。ハブ（被付与者）の一覧については、www.sba.gov/navigators を閲覧してください。

**16. スポークはどのように資金援助を受けているのですか？誰が決定を行うのですか？
スポークに対する SBA の役割を教えてください。**

SBA とハブ企画の間には、付与 - 被付与の関係が成り立ちます。ハブは、SBA ならびにその管轄のスポークの中間に位置します。地域ナビゲーター申請過程の一環として、ハブは SBA に対し、SBA とスポークとの間で取り交わされる署名付きの誓約書および資金分配契約を提示します。地域ナビゲーター案内プログラムの資金調達の機会に関する通知では、スポークに対する最小及び最大資金額を取り決めを行いました。

17. スポークが議会地区でサービス提供を行う場合に、社会的支援はその議会区分に限定されるのですか、あるいはその他の議会区分の該当者もそのスポークの資源を利用できるのですか？

スポークは、計画立案上、必要に応じてその周辺地域につながりのある事業所有者にも社会的支援を行います。社会的支援は特定の議会区分に限定されません。